

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院で肝動脈化学塞栓術(TACE)及びリピオドール動注を行った患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院中央放射線部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

IVR-CTにおける造影剤注入条件の違いがCT値に及ぼす影響

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 医療技師 大浦北斗

3. 研究の目的

当院では肝細胞癌に対して血管内治療として TACE 及び肝動脈化学動注療法を行っています。その際に、血管の走行を確認するために、大動脈造影 CT を撮影しています。その CT 撮影を行った CT 値を測定し、画質の基礎的検討を行うことで、大動脈造影 CT の最適な条件を求めることが目的です。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

肝疾患の患者さんで、2012年1月18日から2023年4月6日までの期間中に、TACE 及び肝動脈化学動注療法を受けた患者様。

(2) 利用させて頂く情報

大動脈造影 CT 撮影の際の大動脈の CT 値に関する情報です。

(3) 方法

CT 値を統計学的に解析します。また、大動脈の CT 値を解析し、そのデータを元に最適な造影剤注入条件を検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究による利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 氏名：大浦北斗

TEL：073-447-2300(内線 2240) FAX：073-441-0512 E-mail：oura-h@wakayama-med.ac.jp